

# From Pilsen to Matsumoto

シカゴのメリットスクールのメンバーによる日本体験記です

とてもエンジョイしている姿が伝わってきますので、下記の日本語訳とともに、お楽しみください。

発祥の地、松本市で行なわれるスズキ・メソード世界大会に

私たち、アレグレ・ストリングの生徒 18 名が参加することになりました。

アレグレ・ストリング・プログラムはピルセンでスタートしました。

創始者は自分が学んだスズキ・メソードの理論を使って、その地区の子どもたちが興味を持つように、

ラテン系の音楽も融合させ、ピルセンでこのような素晴らしいプログラムを作りました。

今、若い音楽家たちがシカゴを代表して、世界大会に行くところです。

私たちはとてもワクワクしています。今日、日本に行くなんて信じられません。

アメリカを出るのはこれが初めてなので、とても楽しみです。

パスポートをチェックしてもいいですか？

気をつけて行って来てください。

あなたたちが世界大会に行っている間、あなたたちのことをいつも考えていますよ。

おめでとう。

## 【日本の街の様子】

バーガー・キングがあるよ。

## 【バスを降りる時】

おはようございます。

## 【学校に着いたとき】

こちらは、学校の顧問の中村先生です。

彼らは弾く準備をしています。歓迎の音楽を弾きます。

## 【シカゴの子ども】

今から 2 曲弾きます。スペインの曲です。

それから私たちは日本の子どもたちと一緒に演奏しました。

「あなたもこの曲が弾けるんだ」なんて、とても楽しかったです。

## 【チルドレン・サミット】

世界中から参加した生徒さんたち、「こんにちは」。

私はフィンランドから参加したビービー、12 歳の女の子です。

世界中から参加した人たちに会えると思ってワクワクしています。

僕はフィリピンから参加したパオロ、中学生です。

自分と同じ音楽に興味を持っている人と話せるのは、嬉しいのですが、言葉が通じるか心配です。

日本の先生はたいてい日本語で指導していました。

最初はちょっと困りましたが、しばらくすると、身振り手振りでわかりました。

自分の知らない言語でも、話し方で、何を言いたいかわかることを学びました。

先生は私たちの課題曲のバッハの「ドッペル」を中心に指導してくださいました。

最初に 1st ヴァイオリンを弾いて、次に 2nd ヴァイオリンに代わり、  
いつでもどちらのパートでも、弾けるようになるいい勉強でした。

#### 【松本市縄手通り】

レイチェルが班長です。このニンジャ・ガエルから、あそこの通りまでで、ほかに出ないでね。

#### 【カラオケ】

助けて！、今、子どもたち 18 人とカラオケの部屋にいます。

#### 【閉会式】

今日は閉会式です。それぞれのクラスで勉強した曲を弾きます。チェロとフルートも加わります。

初めて 5,000 人の子どもたちと一緒に弾きます。

自分はその一人で、しかもこんなにして、きれいに演奏できるなんて、信じられませんでした。

音楽で言葉の壁を超えることができました。

もう一度日本で勉強したいので、シカゴに帰ったら日本語教室に入りたいという声が聞こえます。

こんな短い時間で、日本という文化がこんなに大きな印象を与えるなんて、すごいことです。

マーサ、一番大食い賞！

今、空港へ行く帰りのバスの中です。日本に来なかったら、経験できなかったことをたくさん学んだので、  
日本を離れるのは、とても悲しいです。

特に小さい子たちと仲良くなれた気がしました。

小さい子たちの先輩としてやってきた中で、自分も成長できたと思います。

みんなが助け合って、団結していました。私みたいな小さな子でも助け合っていました。

メリットは、私の生活でとても重要な部分です。

自分に厳しくすること、他人を尊重すること、

先生の良い指導の仕方をみることができたこと、それをこれからの模範としていきたいです。

私は今年、メリットを卒業するので、悲しいです。

世界大会に参加し、アレグレ・ストリングスはたくさんのかたちを経験しました。

これからもっと、多くの機会があるでしょうから、卒業してしまうのは、寂しいです。

この旅行のための寄付をしてくださった方々、先生たち、

この旅行のお世話をしてくださったすべての方々に感謝します。

お土産はこの旅行で経験したことです。日本に行けたことは、特別素晴らしい経験でした。